

《専門講座》保育者編

子どもの育ちを支える協働と共創

主催：東京家政大学地域連携推進センター 後援：狭山市保育幼稚園課・入間市保育幼稚園課

PART 1 子どもの育ちを一緒に支え、共に育つ



講座 1
5/25(土)
申込締切
5/15(水)

保護者とのパートナーシップ形成力の鍵を掴む
～育ちを共に築く～

講師 岩崎 雅美

東京家政大学子ども支援学科准教授



講座 2
6/1(土)
申込締切
5/22(水)

「不適切保育」を考える

主任講師 和田 明人

東京家政大学子ども支援学科教授



講座 3
6/15(土)
申込締切
6/5(水)

子どもの発達を促す運動遊び
～主体性を促すためには～

講師 池森 隆虎

東京家政大学子ども支援学科教授



講座 4
6/29(土)
申込締切
6/19(水)

気になる子どもたちと、ともに育つ保育

講師 阿部 崇

東京家政大学子ども支援学科准教授

会場 東京家政大学狭山校舎 **時間** 各回 10:00～12:10 120分 (休憩10分)
受講料 各回《一般》3,000円 《本学学生》1,500円 申込受付後、振込用紙を郵送いたします。
定員 各回30名 **対象** 幼稚園教諭、保育士、保育教諭等
持ち物 《共通》筆記用具 《講座3》軽運動のできる服装、室内用シューズ、飲み物、タオル

Tokyo Kasei塾 2024 受講申込書

※必要事項を記入の上、右記QRコードまたはメール・FAX・郵送にてお申込みください。お電話でのお申込みは受付けておりません。
 ※メールにてお申込みの場合、メール受信後に当センターより確認の返信をいたします。返信がない場合は、お電話にてお問い合わせください。

応募
フォーム



ふりがな				勤務先名	所属	
お名前	年齢		〈在学生〉	学部	学科	学年
ご住所	〒		希望講座名(番号)	(勤務先または自宅)		
			電話番号	(携帯)		



東京家政大学 地域連携推進センター 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1
 TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929 E-mail chiikioubo@tokyo-kasei.ac.jp
 URL <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>
 (受付時間/平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00)



大学HP

講座 1 いわさき まさみ
岩崎 雅美
5/25±

保護者とのパートナーシップ形成力の鍵を掴む ～育ちを共に築く～

この研修では、コミュニケーションスキルと共感力の向上を通じて、保育所と保護者のパートナーシップを強化し、育ちを共に築くヒントを掴むことを目的とします。保護者の多様なニーズと期待に対する理解を踏まえ、保護者の参加を促進するための工夫やイベントの企画力を身につけましょう。お申し込みお待ちしております！

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科准教授
社会福祉士、介護支援専門員。講義では、「社会福祉概論」「子どもとソーシャルワーク」「子育て支援」を担当。社会的活動としては、「入間市まち・ひと・しごと有識者会議」「飯能市男女共同参画審議会」、かながわ福祉人材研修センター主催「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース」「チームリーダーキャリアパス研修（保育分野）」「新任民生委員・児童委員研修」等に携わっている。著書に「保育・教育ネオシリーズ8 社会福祉援助技術」同文書院 共著、「社会福祉援助技術」光生館 共著 他がある。

講座 2 わだ あきひと
和田 明人
6/1±

「不適切保育」を考える

近頃、よく聞くようになった「不適切保育」…。
どんな保育が「不適切」で、どんな保育ならば「適切」なのでしょう。また、どうやって「適切」か「不適切」かの線引きをするのでしょうか。いったい、どうして「不適切保育」は起こるのでしょうか。そして、「不適切保育」だとしたら、どうしたらよいのでしょうか。保育には正解がないのではなく、唯一解がなく、不正解はあると思います。本講座では、「不適切保育」に関する数々の疑問について一緒に考え合いながら、実践家の経験知と若干の理論知をつなぎ合わせて多様な解を探っていきます。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授
初任から短期大学で14年間、前任の大学では17年間、そして一昨年の春からは東京家政大学の教員として、これまで保育者養成教育に携わって参りました。現在、高齢者介護施設を運営する社会福祉法人と、保育所を運営する社会福祉法人のそれぞれの理事長職を務めております。保育現場と保育者養成校の実働を協働にするための方略を模索中です。

講座 3 いけもり たかたら
池森 隆虎
6/15±

子どもの発達を促す運動遊び ～主体性を促すためには～

子どもは様々な活動の中で成長し、諸器官を発達させていきます。特に運動遊びは、身体の発達に関与するだけでなく、判断やコミュニケーションなど精神的な発達にも大きく関係し、統合的な行動の基礎に繋がる大切な活動と考えられます。幼児期において、運動の機会をどのように増やすかとともに、いかに主体的な運動活動へ繋げていけるかが、その後の人間の成長において重要と考えられます。今回は運動の種類と実際の活動を結び付けながら、主体的運動に繋げる方法を現場でのご意見を伺いながら討論形式で内容を深めていきたいと思っております。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授
筑波大学大学院体育研究科コーチ学専攻修了（体育学修士）。専門はスポーツ心理学。運動・スポーツ分野以外にも表現環境分野（音響・照明・映像）での造詣が深い。研究課題は子どもの遊びの創造、子どもの遊び場づくり、表現環境の整備、音響・照明・映像を用いた表現演出システムの構築。主な社会活動は狭山市スポーツ推進審議会会長。

講座 4 あべ たかし
阿部 崇
6/29±

気になる子どもたちと、ともに育つ保育

本講座では、保育場面で見られる「気になる子ども」をどのように捉え、どのように対応するのか、具体例を挙げながら概説します。また、特別支援教育の現場で実際に使用されている教材に触れていただき、どのような子どもにどのようにして教材を使用するのか説明を行います。講義を通して「気になる子ども」の生きづらさを今一度考えるきっかけになればと思っています。先生方が「気になる子ども」への理解を深め、まわりの子どもたちと共に、よりよい支援ができるようになることを願っています。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科准教授
筑波大学附属大塚特別支援学校（知的障害）に長らく勤務し、知的障害児教育における先導的教育モデルを目指した実践に取り組んできた。平成30年度より、東京家政大学子ども学部子ども支援学科及び、大学院児童学児童教育学専攻で教鞭をとる。障害のある子どもの教育や運動遊び、また障害者スポーツを専門に研究する。主な著書として、「特別支援教育時代の体育・スポーツ：動きを引き出す教材 80（大修館書店）」、「21世紀スポーツ大事典（大修館書店）」、「発達が気になる子の運動遊び 88（学研教育出版）」がある。

受講について

- ★申込受付後、振込用紙を郵送いたしますので、期日までにコンビニエンスストアでご入金をお願いいたします。
- ※銀行・郵便局でのご入金はできませんのでご注意ください。
- ★当日キャンセルの場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。その他キャンセルによる返金等につきましては、ホームページをご覧ください。
- ★講師の都合によりやむを得ず休講にする場合は、後日補講を実施いたします。また、交通機関の運休・悪天候の場合は休講となることもあります。詳細はお問い合わせください。
- ★個人情報は、公開講座以外の目的には使用いたしません。
- ★その他、注意事項など詳細はホームページをご覧ください。

交通のご案内

西武池袋線稲荷山公園駅
南口下車 徒歩3分



お車でのご来校はご遠慮ください。
ご協力をお願いいたします。

*西武線をご利用の場合

